

「伝承」と「創造」の教科横断的カリキュラムの開発 I

—ジオサイトを活用した単元デザインプロセス—

河野 晋也・衛藤 俊明・釘宮 泰代・花坂 歩

Development of a Cross-curriculum that Creates "Tradition" and "Creation" I :
The Process of Creating a Unit Design Using Geosite

KOUNO, S., ETOU, T., KUGIMIYA, Y. and HANASAKA, A.

大分大学教育学部研究紀要 第44巻第1号

2022年9月 別刷

Reprinted From

RESEARCH BULLETIN OF THE

FACULTY OF EDUCATION

OITA UNIVERSITY

Vol. 44, No. 1, September 2022

OITA, JAPAN

「伝承」と「創造」の教科横断的カリキュラムの開発 I

—ジオサイトを活用した単元デザインプロセス—

河野 晋也*¹・衛藤 俊明*²・釘宮 泰代*³・花坂 歩*⁴

【要 旨】 豊後大野市立菅尾小学校は令和3年度にジオパークを活用した教科横断的な授業開発に取り組んだ。本報告では、その内、単元デザインの開発プロセスを提示する。豊後大野市内の教員を対象としたアンケートからは、ジオサイトを活用した実践を継続、蓄積していくことや教科横断的なジオパーク教育の共通カリキュラムを設計することの難しさが明らかになった。本報告にまとめた開発プロセスはジオパークを活用した教科横断的な取り組みの推進に寄与するはずである。

【キーワード】 ジオパーク教育 地域素材の活用 社会に開かれた教育課程 総合的な学習の時間

豊後大野市立菅尾小学校では、平成30年度と31年度（令和元年度）にキャリアプランニング学習の研究開発に取り組み、令和2年度には「郷土教育」と「地域人材の活用」の充実を主軸とした総合的な学習の時間の研究開発に取り組んだ。中核にあるのは郷土を守る人材の育成である。そして、令和3年度には、「おおいた豊後大野ジオパーク」（日本ジオパーク認定）を学習素材にした教科横断的な単元開発によって、新しい知を生み出す人材の育成方法を模索している。本稿で報告及び考察するのは、その内、豊後大野市内の教員を対象としたアンケートを元に作成した単元デザインの開発プロセスである。

私たちを取り巻く世界には、多くの地球的課題が山積している。特に、近年ではSDGs（持

令和4年5月20日受理

*1 こうの・しんや 大分大学大学院教育学研究科教職開発専攻（教科教育）

*2 えとう・としあき 大分市立三佐小学校・校長（前・豊後大野市立菅尾小学校・校長）

*3 くぎみや・やすよ 豊後大野市立菅尾小学校・教諭

*4 はなさか・あゆむ 大分大学教育学部言語教育講座（国語科教育）

※本稿は豊後大野市立菅尾小学校にて開催された「公開研究発表会」（2021年11月18日）での口頭発表を経て、その一部をまとめたものである。

